

家庭・地域等と連携した開かれた学校づくりの推進 ～学校統合における家庭・地域連携，学校間連携を生かした教育活動の充実～

千葉県香取市立山田小学校 中野 清

I 現状と課題

1 現状認識

少子高齢化に伴う児童数減少の中、今後も学校統合は避けて通れない。これまでは、行政主導の統合がほとんどであり、その内容も記念碑や記念誌づくりの「物づくり」に終始し、家庭や地域との連携・協働による開かれた統合・学校づくりが困難な状況にあった。

2 課題分析・アプローチの視点

香取市山田地区校長会は、こうした現状を受け、閉校記念事業を「物づくり」に終始した事業に終わらせることなく、学校の教育活動に家庭・地域の方々の参加・交流を効果的に組み込むことで、児童減少により実施上の課題が増えた学校教育活動の充実につなげ、家庭・地域に一層開かれた学校づくりを進めていきたいと考えた。その中で、校長はどのようにリーダーシップを発揮し、開かれた学校づくりを主導していくかを考えていきたい。

II 研究の概要

1 香取市山田地区5校統合までの経過

- (1) 学校統合決定までの経過
 - ① 平成22年7月「香取市学校適正配置計画実施プラン」
 - ・山田地区5小学校・・・3小学校案⇒1小学校案
 - ⇒児童数減少の統計予測結果から再統合の可能性
 - ⇒地域住民の強い要望
 - ② 山田小学校統合準備検討会議（平成28年度）
 - ・各小学校区の代表者（区長・保護者・校長）
 - ③ 山田小学校統合準備会議（平成29～30年度）
 - ・教育部会，PTA部会，事務部会の3部会構成
- (2) 統合の進め方（5小学校区でそれぞれ地域住民主導の形）
 - ① 小学校区単位での話し合い（地域検討会議）
 - ② 学校同士の話し合い（代表者会議）
 - ③ 具体的な学校再編の準備（準備委員会）

2 閉校記念事業を生かした積極的な学校・家庭・地域交流活動

- (1) 閉校記念事業実行委員会の活動と教育活動との連携方針
 - ① 実行委員会の部会編成
 - 記念事業部会，記念誌部会，記念式典部会の3部会構成とした。委員は、地域の有志の方を中心に構成した。
 - ② 学校教育活動との関わり
 - 校長から実行委員会に教育活動への参画を提案し、記念事業と学校の教育活動を地域連携行事として行った。
- (2) 閉校記念事業実行委員会と学校との具体的連携事業
 - 記念事業部会と家庭・地域の連携を全ての行事ではなく、共に参加協力できる要素が高い「運動会」「ふれあい祭り」「6年生を送る会」の3大行事に絞ることを校長が提案し、了承を得た。
 - ① 運動会
 - ア 実行委員会の委員も運動会に参画
 - イ 地域参加種目の追加
 - ウ 学校だよりやポスター，ホームページでの周知
 - エ 校舎を背景に参加者全員で記念撮影⇒一体感の醸成

② ふれあい祭り

- ア 学校主体から実行委員会主体へ
- イ 昔遊び集会，各学年の発表，地域の方々の発表

③ 6年生を送る会

- ア 児童中心の会から家庭と地域を含めた会へ
- イ 「6年生を送る会」から「小学校を送る会」へ
- ウ 各学年の発表と地域の発表の場の設定

3 山田地区5校交流事業

- (1) 各種スポーツ大会での交流
 - 陸上競技大会では、児童控エントを隣接させ、何気ない会話で交流を図ったり、5校の選手相互に声援を送ったりした。
- (2) 地区音楽集会での交流
 - ① リズムセッションでの交流
 - 5校の児童が集う音楽集会でリズムセッションのコーナーを設け、自己紹介等で交流しながらセッションを楽しんだ。
 - ② 新校歌練習会
 - 新校歌の練習会を音楽集会終了後に行い、山田小学校校歌の作詞者からご指導いただいた。
- (3) 校外学習での交流
 - これまで学校ごとに行われていた各学年の校外学習において、日程を調整し合同でバスを予約し、実施した。
- (4) なかよしピクニック
 - 5校の児童でグループを編成し、ウォークラリーやゲームを通して協力し、交流を深める活動を計画した。

III 成果と課題

1 成果

閉校記念事業についての情報発信を様々な方法で行うことにより、学校の教育活動への家庭・地域の理解が高まった。また、閉校記念事業と教育活動との関わりによって、地域の活性化と地域の教育力向上につながった。さらに、児童の交流事業を積極的に行うことで、統合に向けた不安を解消することができた。

2 課題

閉校記念事業と関連付けた教育活動が、教職員の多忙感や家庭・地域の理解不足が増幅しないように配慮するとともに、統合5小学校区の地域の課題を理解し、それぞれの閉校・統合情報を学区全体に周知することで、統合後の5小学校区の家・地域連携を視野に入れながら開かれた学校づくりを進める必要がある。

IV 提言

- 1 校長は、閉校記念事業を教育活動に効果的に取り入れるためにできるだけ多くの情報発信を行い、相互理解のもと家庭・地域との連携を進め、学校と家庭・地域の教育力の相乗効果を高めながら開かれた学校づくりを進めていく。
- 2 校長は、統合する各小学校の歴史と地域状況の理解に努め、統合小学校区の家・地域連携を視野に入れた開かれた学校づくりを進めていく。